

Fukuoka Prefectural Association of Building Maintenance 2002

2002 都市ビル環境の日

行事
プログラム

社団法人福岡県ビルメンテナンス協会

都市ビル環境の日

10月4日「都市ビル環境の日」設定趣旨

コミュニティの快適な環境創造をめざして

都市は人類の生命活動から考えるならば、人々が交流するコミュニティと捉えることができます。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。ビルで営まれるさまざまなコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全で衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境はバラン

スを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住み易い街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

私たち社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、県民に都市の環境づくりをアピールしていきます。

本年度のテーマ

“都市温暖化”への挑戦

最近、ヒートアイランドというキーワードがクローズアップされてきました。都市のビル・工場や自動車などによって大量放出される人工熱や放射熱が、都市部における平均気温を周囲と比較して押し上げている現象を指します。等温線が島のような形になるため、ヒートアイランド(=熱の島)と呼ばれます。特に最低気温が高くなることが顕著な事象で、都市生活者の間で「昔に比べ、冬季の積雪が少なくなった!」と強く感じられるのもその証左と考えられます。

温室ガス効果の増加に伴う地球全体規模の温暖化とはまた別の現象ですが、都市生活(経済産業)に密着した化石燃料の大量消費に起因している点では、同質の問題と言えるでしょう。

私たちビルメンテナンスは、この“都市温暖化”問題の主原因である都市エネルギーの需要増加と少なからず関係を持っています。本年の『都市ビル環境の日』シンポジウムでは、都市で

消費される大量のエネルギーが熱に変わり、都市内部に蓄積され、周辺の郊外と明らかに気温差を生じている問題に取り組みます。

“都市温暖化”は将来の問題ではなく、いま進行している時限爆弾という危機意識を持って対処しなければなりません。環境対策において、フリーライダー(ただ乗り)という言葉があります。環境対策の義務を果たさず、そのコストを負担しないものはフリーライダーと呼ばれます。都市経済活動を基盤とするビルメンテナンスも、もちろんただ乗りは許されません。

運輸業界で取り組んでいるアイドリング・ストップ運動に共鳴するようなことに、私たちビルメンテナンスもチャレンジしようと考えます。

私たちの関わる都市ビルの省エネや設備改善等によるエネルギー効率向上に取り組み、環境負荷をより低減させるグリーンオフィス構築への挑戦が、いま始まります。

2002 都市ビル環境の日

行事内容

シンポジウムの部

開催日時：平成14年10月4日（金）13：30～16：30

開催場所：九州エネルギー館

テーマ「都市温暖化への挑戦」

総合司会 藤 甲子郎

《（株）西日本ビル代行 代表取締役》

- 13：30 **開会挨拶** (社)福岡県ビルメンテナンス協会会長 青木 博志
- 13：35 **来賓挨拶** 福岡県知事 麻生 渡
福岡市長 山崎広太郎
北九州市長 末吉 興一
- 13：50 **基調講演** 「都市温暖化への挑戦」
明海大学 不動産学部教授 工学博士 石塚 義高
- 休 憩 ——
- 15：00 **事例発表** 「青年部の主張」
(社)福岡県ビルメンテナンス協会 青 年 部
- 16：30 **閉会挨拶** (社)福岡県ビルメンテナンス協会 副会長 古賀 修

クリーンアップ福岡

日 時：平成14年10月4日（金）10：00～12：00

場 所：福岡県主要都市中心部及び会員受託物件の周辺

行 事：公共施設の清掃及びゴミ収集



(社)福岡県ビルメンテナンス協会 会長
青木 博志

快適な生活環境の確保に向け ビルメンテナンス業界は正面から 温暖化対策に取り組みます

「都市・ひと・自然を考える」ことを目的とし、我々の仕事が都市と深い結びつきがあることを考え、住みよい街造りに貢献していくことを目指し、1995年より毎年10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、今年で8回目を迎えましたことは、ご後援を頂いております福岡県をはじめとする関係行政、諸団体並びに業界の皆様方のご指導、ご協力の賜物と衷心より感謝申し上げます。

私たちビルメンテナンス業は、建築物の衛生的環境の確保並びに快適さ、及び安全の確保を担う重要な業務と認識し、日々、業務に取り組んでいるところであります。

さて、今年も県内各地で「クリーンアップ福岡」を展開し、街の美化運動を行い、また、シンポジウムではテーマを「都市温暖化への挑戦」として都市が排出する大量のエネルギーの抑制について考えて行きます。

近年、地球温暖化問題について社会でも問題に挙げられています。特に最低気温が高くなることが顕著な事象で、都市生活者の間で「最近暖かくなった」とか、「昔に比べ雪が少なくなった」と強く感じられるのもその証左と考えられます。

都市のビル・工場や自動車などから大量排出される人工熱や放射熱が、この温暖化の原因の一つとされるものならば、私たちのビルメンテナンスは、この都市温暖化問題の原因である都市エネルギーの需要増加と少なからず関係を持っているものと思います。そこで私たちは、都市で消費される大量のエネルギーが熱に変わり都市内部に蓄積され、周辺の郊外と明らかに気温差を生じている問題に取り組み、考えていきます。

快適な生活空間の確保が環境問題を引き起こすと言う二律背反の問題について、我々ビルメンテナンス業界は正面から取り組み、考え続けていかねばならないと思います。関係各位には今後とも更なるご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、今日まで本行事を企画、実施し、積極的なご参加とご支援を頂きました実行委員長はじめ、各委員と会員の皆様に心より謝意を表する次第でございます。



福岡県知事
麻生 渡

深刻な問題に対する 意義深い取り組みの成果を 心から期待します

「2002 都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されることを、心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和54年の設立以来、建築物の衛生的環境や安全性の確保に多大なご尽力をいただき感謝申し上げますとともに、協会の皆様の熱意とご努力に対し、深く敬意を表します。

今日、ビル内の人工的な排熱の増加などで、都市部の平均気温が周囲と比較して上昇する「ヒートアイランド現象」が都市の深刻な環境問題の一つとなっています。

空調システムの効率を高め設備の省エネルギー化を図りつつ、ビル内で長時間過ごす人たちの快適で衛生的なビル環境を確保することが大変重要になっています。

このような中、貴協会は、全国に先駆けて、10月4日を『都市ビル環境の日』と定め、毎年、建築物におけるさまざまな問題について研究・検証を行うとともに会員をはじめ多くの方々の参加を得て「クリーンアップ福岡」として公共の場所の一斉清掃を実施され、都市、ひと、自然の調和のとれた快適な環境づくりに積極的に取り組んでこられました。

さらに、今回の「地球温暖化」への挑戦をテーマとしたシンポジウムの開催は「都市温暖化問題」を深く考え解決していくうえで、誠に意義深い取り組みであり、心から成果を期待します。

福岡県としましては、今後とも県民の安全で快適な潤いのある住み良い街づくりに積極的に取り組んでまいります。

記念行事のご成功と貴協会の今後ますますのご発展並びに会員の皆様のご健勝を心から祈念します。



福岡市長
山崎 広太郎

行政と市民・事業者が 一体となって温暖化対策を 推進しましょう

「2002 都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

貴協会の皆様には、日頃から本市の環境衛生行政の推進に多大なご尽力をいただき、また、「都市ビル環境の日」には、毎年「クリーンアップ福岡」として公共の施設の清掃・美化に取り組んでいただくなど、深く感謝申し上げます。

さて、近年、福岡市におきましても都市部のオフィスビルの大型化・高層化やビル建設の都市周辺部への広がりなどがみられることから、都市の温暖化が進行し、ビル内の環境を快適に保つためにさらに電力等を消費して排熱を出す悪循環に陥る可能性があります。また、室内外の温度差による体調不良、いわゆる「冷房病」を訴える人が増えているといわれております。

このような状況の中、ビルに集う人々に快適さをもたらすビルメンテナンスと都市温暖化問題への対応は、相反する面がある難しいものでありますが、今回、貴協会が「都市温暖化への挑戦」をテーマに取り上げられたことはまことに意義深いものであり、その成果に大きな期待を寄せるものであります。

福岡市におきましては、地球温暖化防止に向けた実践活動の推進を目的として設立された「地球温暖化防止市民協議会」等を通じまして、市民のライフスタイルや事業者のビジネススタイルを見直し、環境に優しいものへと転換する取り組みを市民や事業者と共同して推進しており、今回のテーマである「都市温暖化への挑戦」にも積極的に取り組んでいるところであります。今後とも、貴協会の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、(社)福岡県ビルメンテナンス協会のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



北九州市長
末吉 興一

暮らしやすいまちづくりに向け 環境への取り組みを 積極的に発信します

「2002 都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

(社)福岡県ビルメンテナンス協会は、創立以来、建築物のより快適な環境と安全性を確保するため、関係業界の指導育成にご尽力されています。多大な成果を収められている協会の皆様へ、深く敬意を表します。

近年、地球環境への配慮や社会の多様なニーズから、建築物を取り巻く環境は大きく変化しています。今後の建築物衛生を考える上で、地球環境のための省エネルギー対策、建物の設計から維持管理、解体にいたるまでのライフサイクルコストを考えた建築物の長寿命化は、避けては通れない重要な課題です。これまで以上にビルメンテナンス業に携わる皆様の役割は大きくなります。

こうしたなか、都市における環境問題にいち早く着目し、業界全体の問題として捉え「“都市温暖化”への挑戦」をテーマとしてシンポジウムを開催されますのは、大変意義深いことだと考えます。

皆様には、シンポジウムの成果を十分に生かしていただき、快適な都市環境の維持、発展に向けて大きく前進されることを期待します。

北九州市でも、これまでの公害を克服してきた歴史を反映して「環境未来都市の創造」をまちづくりの柱の一つに掲げ、全市をあげて環境問題に取り組んでいます。4月には、環境学習と環境交流の総合拠点のため、昨年開催した北九州博覧祭のパピリオンとして使用した建物を活用し、環境ミュージアムをオープンしました。この施設から環境に関する教育あるいは情報を発信したいと考えています。

(社)福岡県ビルメンテナンス協会のみまますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

2002 都市ビル環境の日 シンポジウム

基調講演



石塚 義高

Profile

1945年東京に生まれる。
東京工業大学理工学部建築学科卒。
工学博士。
専攻は建築経済学、都市防災学、不動産管理学。
明海大学不動産学部教授。
日本建築学会会員・主査・(元)評議員、日本環境管理学会会員・理事・学術委員会委員長、日本都市計画学会会員、日本不動産学会会員、都市住宅学会会員、日本マンション学会会員。

著書

建築経済学のすすめ	単著、経済調査会
建築経済学のすすめ 不動産管理入門	単著、改訂、経済調査会
建築物のライフサイクルコスト	共著、経済調査会
改訂 建築物のライフサイクルコスト	共著、改訂、経済調査会
建築のライフサイクルマネジメント	単著、井上書院
建築のライフサイクル設計	共著、日本建築士連合会
環境革命のすすめ	単著、ビジネスオーム社
地域施設の計画	共著、丸善
建築計画・設計シリーズ 庁舎建築	共著、市ヶ谷出版
建物リフォーム・リニューアルマニュアル	共著、産業調査会
建築術入門 第1～5巻	共著、山海堂
建物の定期診断と補修	単著、井上書院
建築現場実務大系 建物の診断と解体工法	共著、井上書院
建築内外装ハンドブック	共著、建設産業調査会
筑波研究学園都市計画記録	共著、建設省
筑波研究学園都市営繕計画資料集	共著、建設省
筑波研究学園都市施設管理基準	共著、建設省
筑波研究学園都市施設管理業務要領	共著、建設省
他	
学術論文多数、定期刊行物論文多数、論評・論壇新聞掲載多数	

青年部の主張

テーマ “都市温暖化” への挑戦

“都市温暖化”という現代が生んだ怪物に対し、我々ビルメンテナンスは何をすれば良いのか？何か出来ることがあるのか？この問題の主原因である都市エネルギーは、東京の2003年問題でも解るようにますます膨れて行く一方です。ここ福岡市においても都市回帰の傾向は強まり、夏の夜はエアコンの室外機の音が、車の騒音よりも安眠妨害だとも言われており、“都市温暖化”に拍車が掛かる一方です。

ビルメンテナンス業と都市とは切っても切れない縁にあり、避けることができない問題です。運輸業界で取り組んでいるアイドリング・ストップ運動に共鳴するようなことに、我々も挑戦していかなくてはなりません。そこで青年部では既にメンバー企業で実施している環境改善に繋がるであろうという技術に注目してみました。

そのメニューは

- 第1幕 「ペンギン親子 都会へ来る」
- 第2幕 「防カビ施工とダクト清掃」
- 第3幕 「ガラスコーティングと床コーティング」
- 第4幕 「資源エネルギー庁長官賞」

からエンディングとなります。

見て、笑って、聞いて、触れて、少しでも今後の参考になればと思います。
青年部の挑戦はこれからも続きます。

2002 都市ビル環境の日 「クリーンアップ福岡」

今年の「クリーンアップ福岡」は 更にパワーアップします！

県下広域で行う奉仕活動「クリーンアップ福岡」も回を重ねて、今年で第8回目になります。その間、毎年の行事の積み重ねにより、県民、行政から高い評価を頂くようになりました。ようやく「クリーンアップ福岡」は市民権を取得した感があります。これからも、都市環境対策の最前線にある我々は、再認識と自覚を深め、広く県民に喜んで頂ける行事として、業界あげて更なる精進を続けます。

今年の活動内容は、前年同様、福岡市は「福博であい橋」を、北九州市は「太陽の橋」と「鷗外橋」を、筑前、筑後、筑豊、京築地区は主要公共施設を中心に清掃作業。いずれもプロとしての作業で業界のアピールに努めます。

特に今年は、新調した「黄色のキャップ」を着用し、福岡市、北九州市の都心部で、会員受契ビル周辺の清掃活動を行います。統一したスタイルで、さらなるアピールを図ります。

また、会員企業からの行事参加者に万一の事故対策として、県協会では「行事団体傷害保険」に加入しました。守り札ともなるべく行事の安全を祈願します。今年の「クリーンアップ福岡」は、企画内容を充実させ、パワーアップして県民に大きくアピール致します。

クリーンアップ福岡に寄せて

賛助会会 丸山 健三 (株)福岡リンレイ

クリーンアップ福岡は、年毎に検討し加えられる創意工夫や、継続に懸ける皆様方の熱意も有り、年々参加者が増大していく上昇気運の中で、今年も第8回目が開催されますことをご喜び申し上げます。

当初この行事は、ビルを運営していくために、私共ビルメンテナンス業界がいかに緊密に係わっているかをアピールしていくための手段として企画されたと同っております。しかし、回を重ねるに連れ、ビルメンテナンス業務本来の重要性・必要性を認識して頂くための行事として進化していき、それに伴い、その主旨に賛同する輪が広がり、次第に各方面に影響を及ぼし、他県協会でも追従の動きが見られるまでに発展させて参られましたことは誇れることだと思ひますし、又ここまで育ててこられた皆様方のご努力に改めて敬意を表したく存じます。さて、私とこの行事の関係は、初めて賛助会として参加させて頂いた4年前に遡りますが、その折に、清掃作業中の風景がニュースとして報道され、生まれて初めてテレビ出演できたことに始まります。その時は訳も解らないままの参加でしたが、非常に多くの方々が集い、特別シンポジウムも開かれ、テレビ取材まで有る派手な行事だったと強く印象に残っております。当時に比べ、更にこの行事が発展していることは言うまでもありませんが、厳しい経済環境から脱却するためにも、私共がより強くメンテナンスの重要性をアピールできる行事として、更なる飛躍を願ひ、盛り立てていきたいと考えております。

第7回「クリーンアップ福岡」 スナップショット



会場案内図

九州エネルギー館

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目13-55
TEL.(092)522-2333



西鉄バス 城南線「南薬院」バス停
下車、徒歩約5分。
西鉄バス 浄水通「九電体育館前」
バス停下車、徒歩約1分。

主催

社団法人

福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 藤田ビル2階
TEL (092) 481-0431 FAX (092) 481-0432

後援

福岡県

協賛

財団法人ビル管理教育センター
社団法人福岡ビルヂング協会
社団法人福岡県警備業協会
社団法人福岡県産業廃棄物協会
社団法人福岡県建築士会
日本環境管理学会九州支部
社団法人高層住宅管理業協会九州地方支部
全国管洗浄更生協会
社団法人全国建築物飲料水管理協会福岡県支部
福岡県管工事業協同組合連合会
福岡県ペストコントロール協会
福岡ガラス外装クリーニング協会
福岡県ビル管理協同組合連合会